

第8章 クジャク対策事業まとめ

8.1 平成29年度駆除結果まとめ

平成29年度に実施したクジャク対策のうち、営巣卵の駆除および生体の駆除について、作業人時、結果、作業の特徴、および平成30年度の方針（案）を表8.1に、黒島全体での平成28～29年度の駆除作業地点等を図8.1に、ねぐらでの生息確認数の推移を図8.2に示した。以下で各項目について言及する。

探索犬による営巣卵の駆除では、176.3人時の作業により、57巣・277個の営巣卵を駆除し、作業人時あたりの駆除数は0.3巣と昨年度と同等の駆除成果が得られたため、次年度も同様の作業量で実施することが望ましい。

ねぐら調査では256人時の作業でのべ384羽の生息が確認されたが、生体駆除を継続することでねぐらでの個体数は減少傾向となることが示唆された。また、ワイヤーで30羽、空気銃により170羽を捕獲し、作業人時あたりの駆除数はそれぞれ1.0羽および6.8羽と、特に空気銃については昨年度よりも効率的な捕獲が行えたと考える。これは、ねぐら調査を昨年度から継続して実施していることで、クジャク個体の発見を効率的に行えていることが一因である。以上より、平成30年度も上記組み合わせによる捕獲を継続実施することで生体駆除はより成果が上がることを期待できる。

ボウネットおよびネットランチャーを使用した捕獲については捕獲がなかったが、一方でくくりわなについては捕獲実績を得たことから、次年度も引き続き実施方法を検討、捕獲効率の向上に努める。

表8.1 平成29年度クジャク駆除対策結果まとめおよび平成30年度方針（案）

作業項目	年度	作業人時	駆除結果	駆除結果/人時	H30方針(案)
営巣卵の駆除 (探索犬)	H28	132.5	38巣・182個	0.3巣・1.4個	同様の作業量にて継続
	H29	176.3	57巣・277個	0.3巣・1.6個	
ねぐら探索	H28	112.0	233羽確認	2.1羽(確認)	同様の作業量にて継続
	H29	256.0	384羽確認	1.5羽(確認)	
ワイヤー捕獲	H28	14.0	14羽捕獲	1.0羽捕獲	同様の作業量にて継続
	H29	30.0	30羽捕獲	1.0羽捕獲	
空気銃	H28	18.8	89羽捕獲	4.7羽捕獲	同様の作業量にて継続
	H29	25.0	170羽捕獲	6.8羽捕獲	
箱わな	H28	88.0	0羽捕獲	0羽捕獲	
	H29	-	-	-	
ボウネット	H28	-	-	-	実施方法の再検討
	H29	48.0	0羽捕獲	0羽捕獲	
一斉捕獲 (ネットランチャー)	H28	-	-	-	実施方法の再検討
	H29	112.0	0羽捕獲	0羽捕獲	
一斉捕獲 (くくりわな)	H28	-	-	-	実施方法の再検討
	H29	48.0	1羽捕獲	0.02羽捕獲	

※ねぐら探索での確認数はのべ数とする。

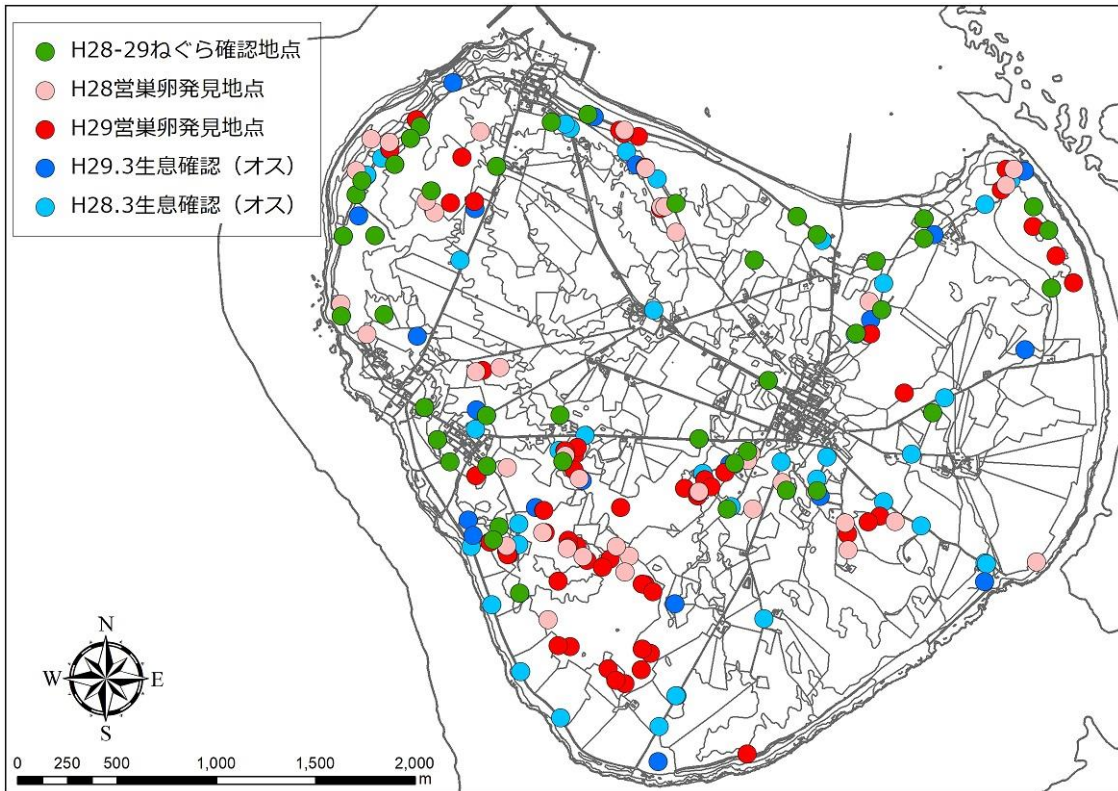


図 8.1 平成 28～29 年度黒島における営巣卵駆除、ねぐら、およびオス確認地点

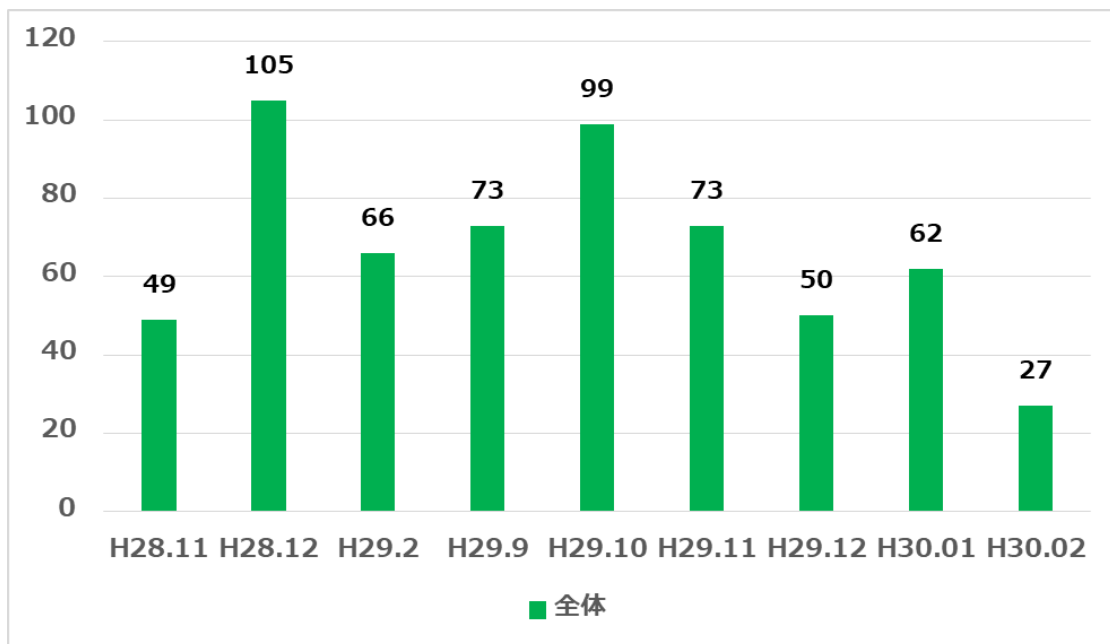


図8.2 平成28～29年度黒島におけるねぐらでの生息確認数の推移

8.2 エリアごとのクジャク対策結果

クジャクのオスを中心とした経年的な個体群動態をできる限り把握するため、黒島全体を地域の環境または個体群の生息状況にあわせて8つのエリア(L01～L08)に分類してデータ整理を行った。使用するデータは①平成28年度(4～6月)および平成29年

度（4～6月）営巣卵駆除地点、②ねぐら地点における生息確認数（平成28年度（12月～平成29年2月）および平成29年度（9～2月））、および③平成28および29年度生息数調査におけるオスの生息確認地点とし、おもにねぐら位置を中心とした個体群の移動経路および生息数の推移について検討する。

エリアL01（図8.3）においては、これまでに11地点のねぐらが確認されている。これまでの営巣卵発見地点はねぐら位置付近にプロットされるが、中には200m近く離れることもありうる。また、オスはねぐら地点から400m近く移動すると推測される。ねぐら地点での生息確認数は、全体的に一旦減少後したものの平成29年度10月以降は10羽程度で推移している（図8.4）。地点ごとでみると、#18および#28は減少傾向を示しており、また、#6、#19、#20、#21、#26、および#27は駆除後5か月以上個体の確認がないことから、駆除の成果がうかがえる。一方、#29については、確認数が横ばいであることから、さらに捕獲圧を加える必要がある。

エリアL02（図8.5）においては、これまでに当該エリアの北部地域において1地点のねぐらが確認されている。これまでに営巣卵は確認されていないが、ねぐら地点においても本年度1月に10羽の生息を確認し、うち7羽を捕獲した（図8.6）。今後も継続して調査を実施し、データの蓄積にあたる。

エリアL03（図8.7）においては、これまでに6地点のねぐらが確認されている。これまでのオスの生息地点や営巣卵発見地点はねぐら位置付近にプロットされるが、中には200m近く離れることもありうる。ねぐら地点での生息確認数は、全体的に徐々に減少傾向にある（図8.8）。地点ごとでみると、#15、#30および#39は減少傾向を示しており、また、#9は駆除後4か月以上個体の確認がないことから、駆除の成果がうかがえる。なお、本エリア東部のねぐら#9、#15、#30は隣接もしくは周辺に牧草地・ギンネム林のみが存在しているのみで、当該3地点をいくつかの個体群が定期的に移動しねぐらとして利用していると考えられる。

エリアL04（図8.9）においては、これまでに4地点のねぐらが確認されている。本エリアではねぐら地点から約250m離れた地点で営巣が確認されており、オスはねぐら地点からは大きくは離れない傾向があると考えられる。ねぐら地点での生息確認数は、全体的に徐々に減少傾向にあるものの、平成30年2月に新規ねぐら地点（#42）にて8羽を確認したこともあり、一時的に増加した（図8.10）。

エリアL05（図8.11）においては、これまでに10地点のねぐらが確認されている。これまでの営巣卵発見地点はねぐら位置付近にプロットされる。また、オスもおおむねねぐら地点周辺で活動していると推測される。ねぐら地点での生息確認数は、全体的に徐々に減少傾向にあり、#1および#5は駆除後1年以上生息確認がなく、#11、#13、#16、#17および#31も減少傾向にあることからこれまでの駆除の成果が表れていると考えられる（図8.12）。一方で、当該エリアの中央部は大きな森林を形成しており、その周辺に位置する#7は駆除を進めているものの生息数は減少していない。当該森林域はアクセスが困難であることから夜間のねぐら調査および生息数調査が難しく、個体群動態が把握しにくい地域である。なお、営巣地点が多いことから多数の個体が生息していると考えられており、今後は森林へのアクセスルートの確保を試みる必要がある。

エリアL06（図8.13）においては、これまでに8地点のねぐらが確認されている。これまでの営巣卵発見地点はねぐら位置付近にプロットされるが、中には200m近く離れることもありうる。また、オスはねぐら地点から400m近く移動する可能性がある。ねぐら地点での生息確認数は、全体的には10羽前後で推移しているが（図8.14）、これは#25での確認数によるところが大きい。一方で、#4および#14では、確認数は減少しており、駆除成果が表れていると考えられる。

エリアL07（図8.15）においては、これまでに1地点のねぐらが確認されている。これまでの営巣卵発見地点はねぐら位置から約100mの位置に存在する。また、オスはね

ぐら地点から 200m 程度移動すると推測される。ねぐら地点（#3）での生息数は徐々に減少傾向にあり、確認個体についても捕獲できている（図 8.16）。

エリア L08（図 8.17）においては、これまでに 2 地点のねぐらが確認されている。これまでの営巣卵発見地点はねぐら位置から約 100m の位置に存在する。また、オスは、ねぐら地点から 200m 程度移動すると推測される。ねぐら地点での生息数は、一旦減少するものの、のちに増加し再び減少する傾向がみられる（図 8.18）。当該地点では生体の駆除を実施し、一旦生息数は減少するものの、他の個体群からの移入が起きているものと推測される。

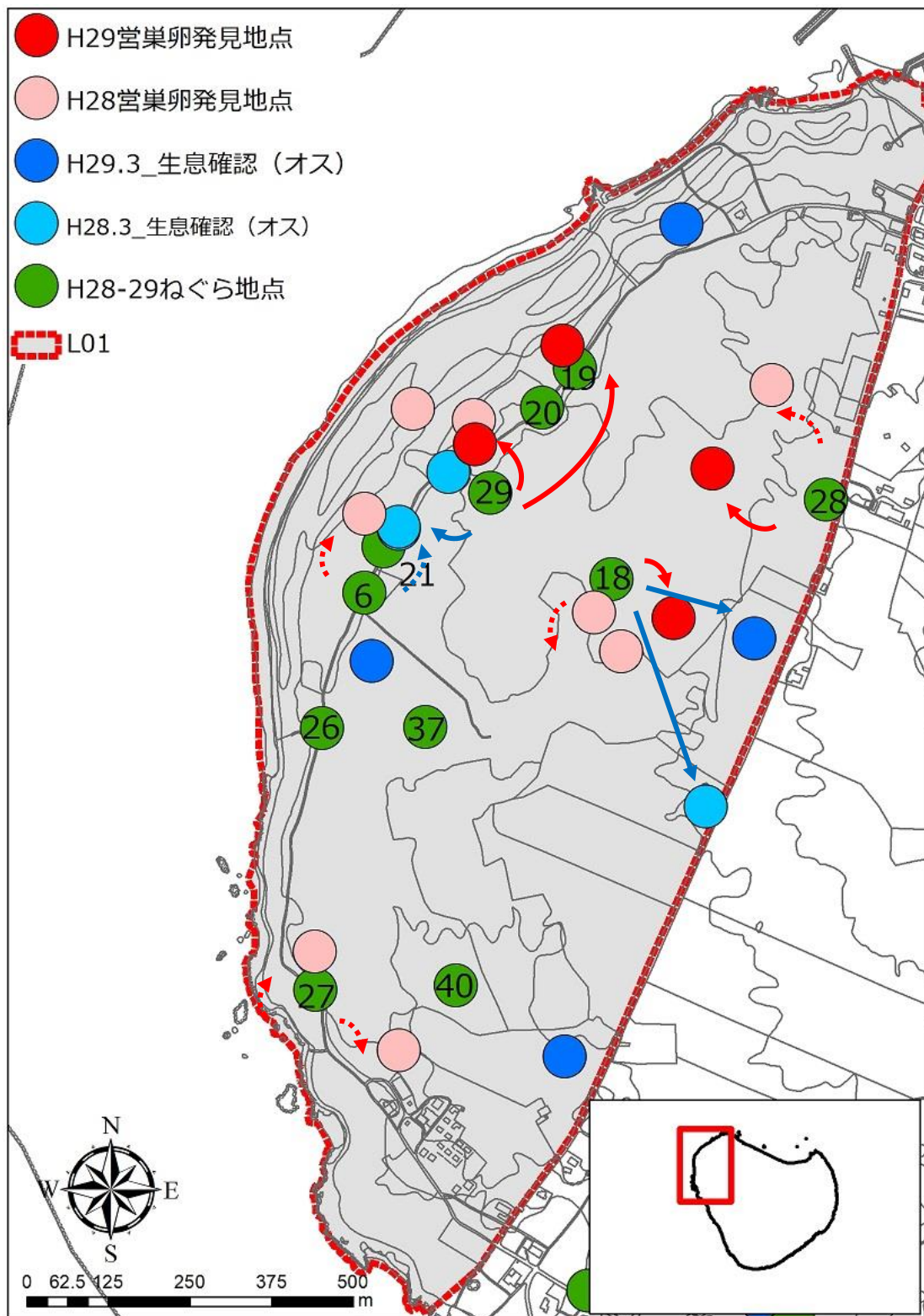


図 8.3 L01における個体群動態

数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）、表は営巣数・卵数の推移を表す。



図 8.4(1/2) エリア L01 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

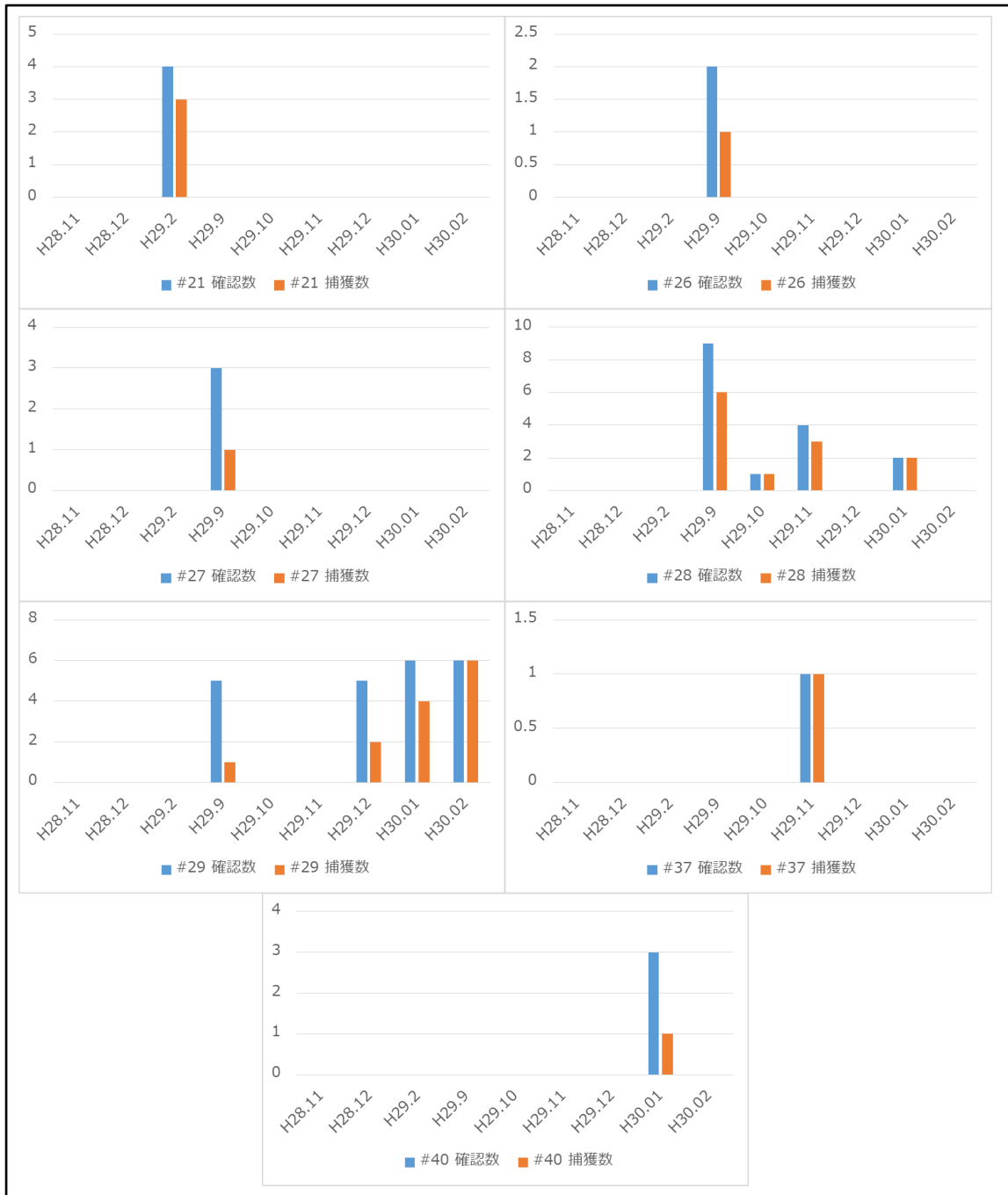


図 8.4(1/2) エリア L01 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
 数字は確認数（羽）を表す。

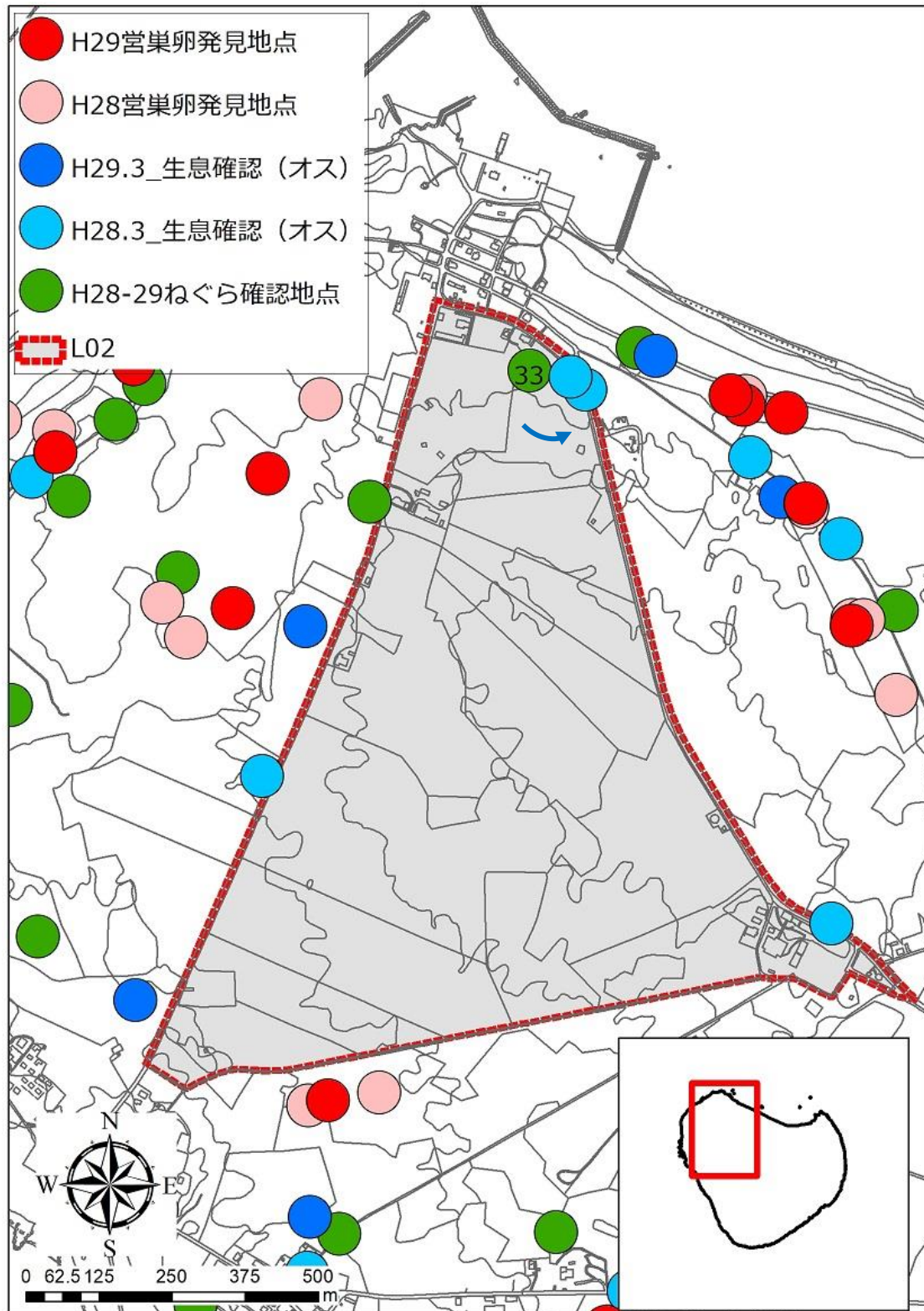


図 8.5 L02 における個体群動態
 数字(33)は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。

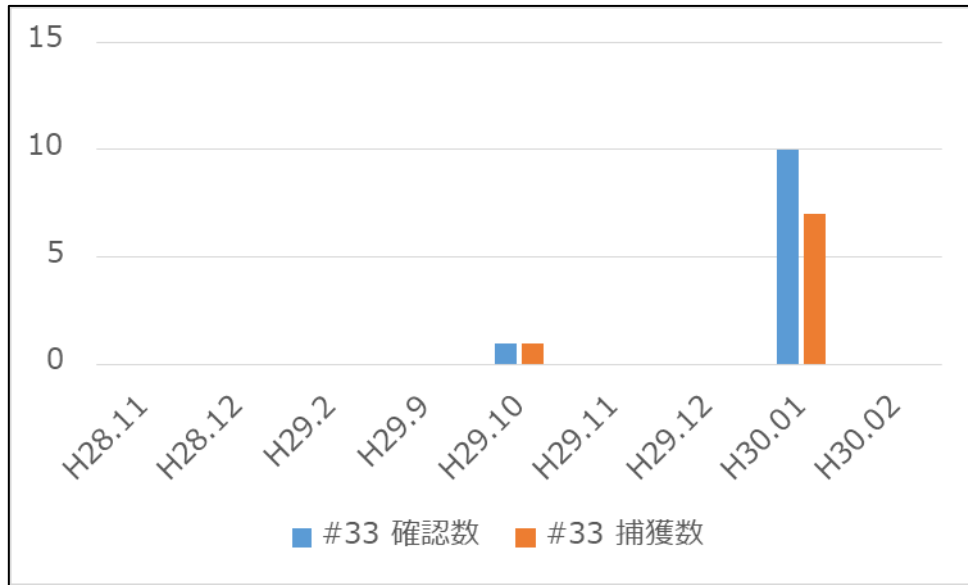


図 8.6 平成 28～29 年度エリア L02 におけるねぐら地点での確認数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

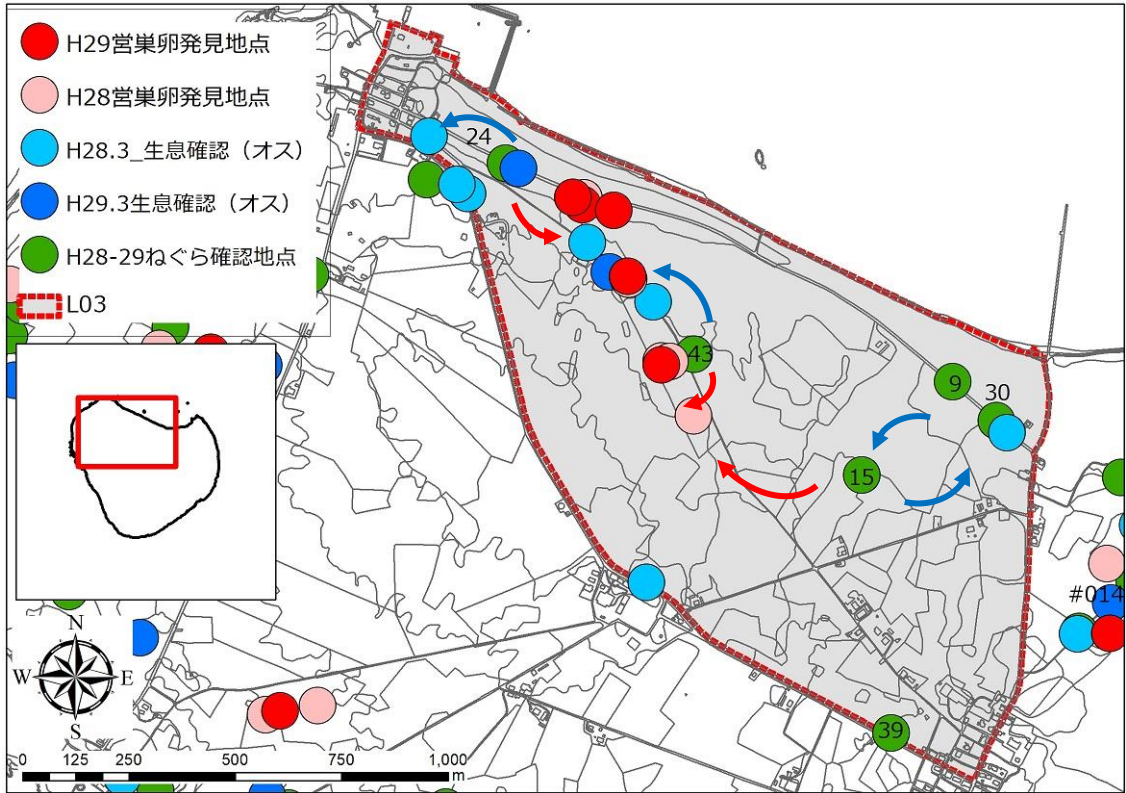


図 8.7 L03 における個体群動態
 数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。



図 8.8(1/2) エリア L03 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

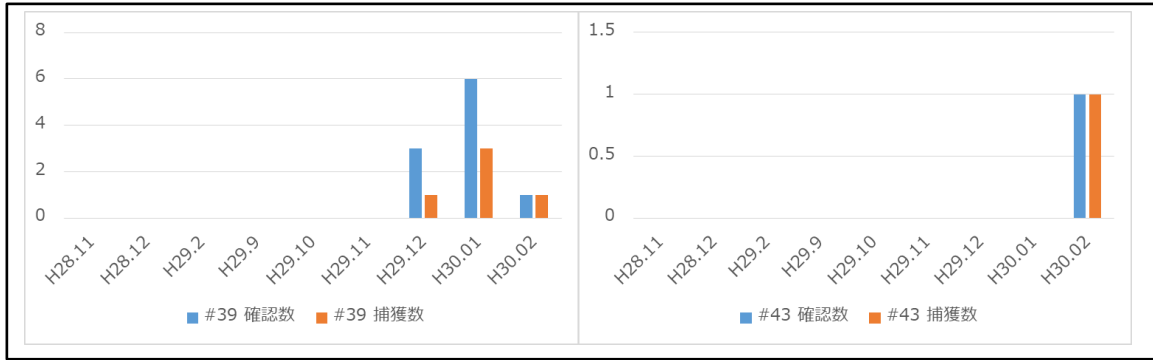


図 8.8(1/2) L3 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

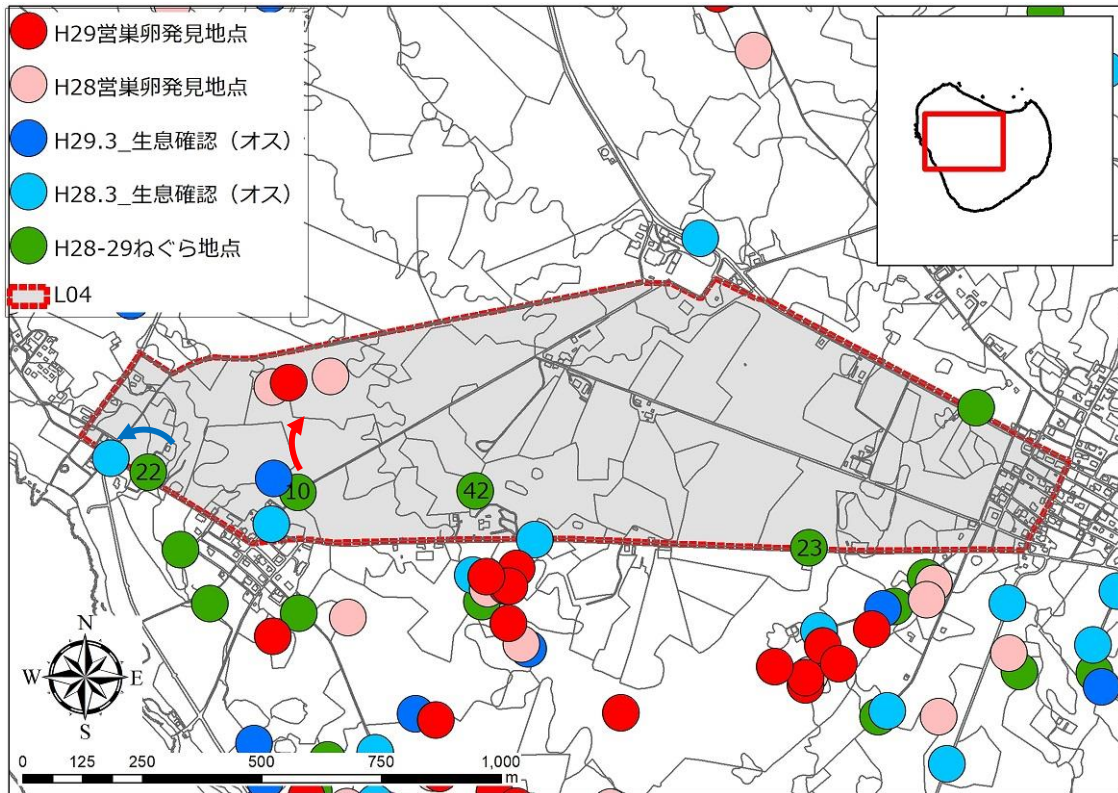


図 8.9 L04 における個体群動態
 数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。



図 8.10 エリア L04 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

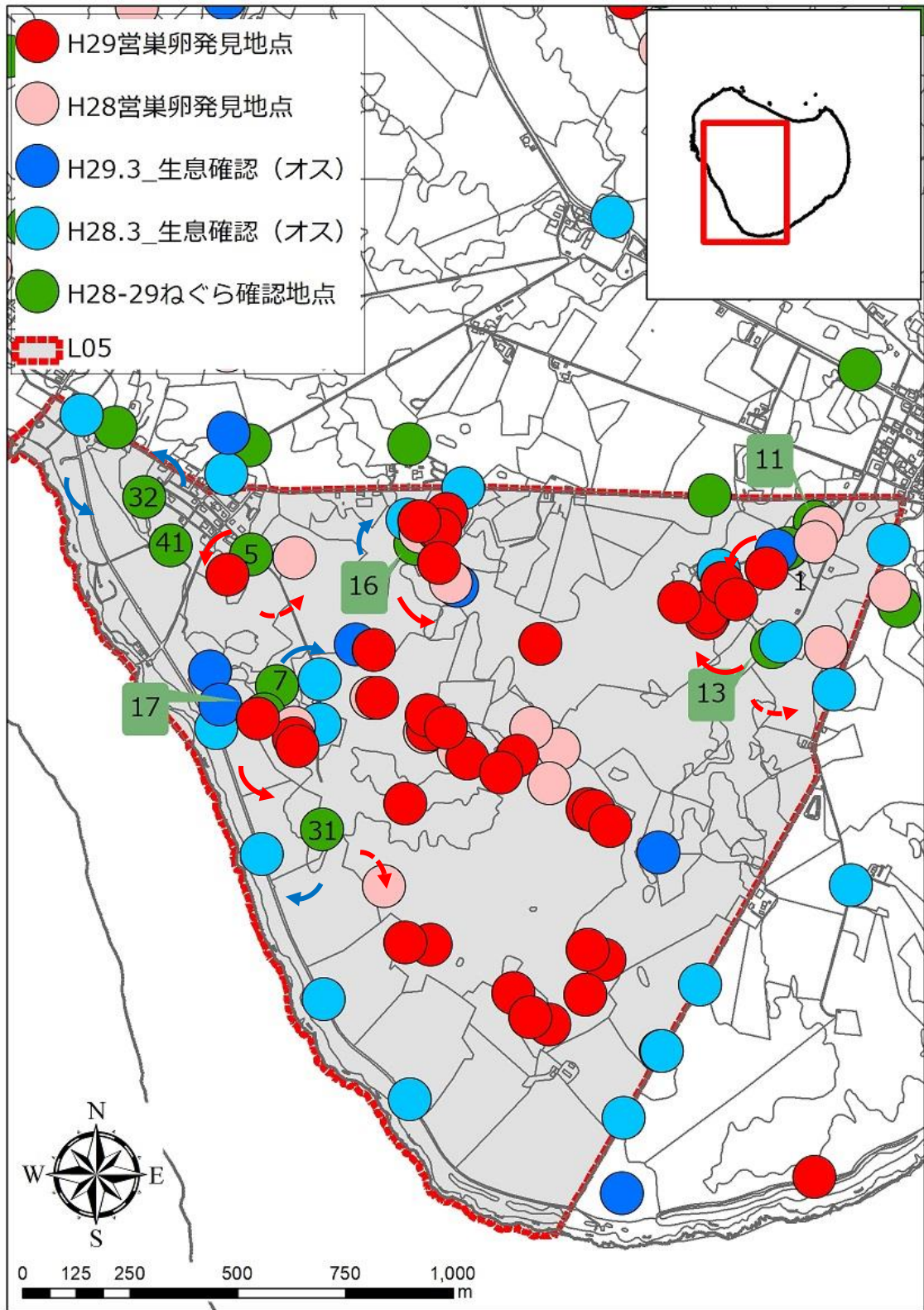


図 8.11 L05 における個体群動態
 数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。

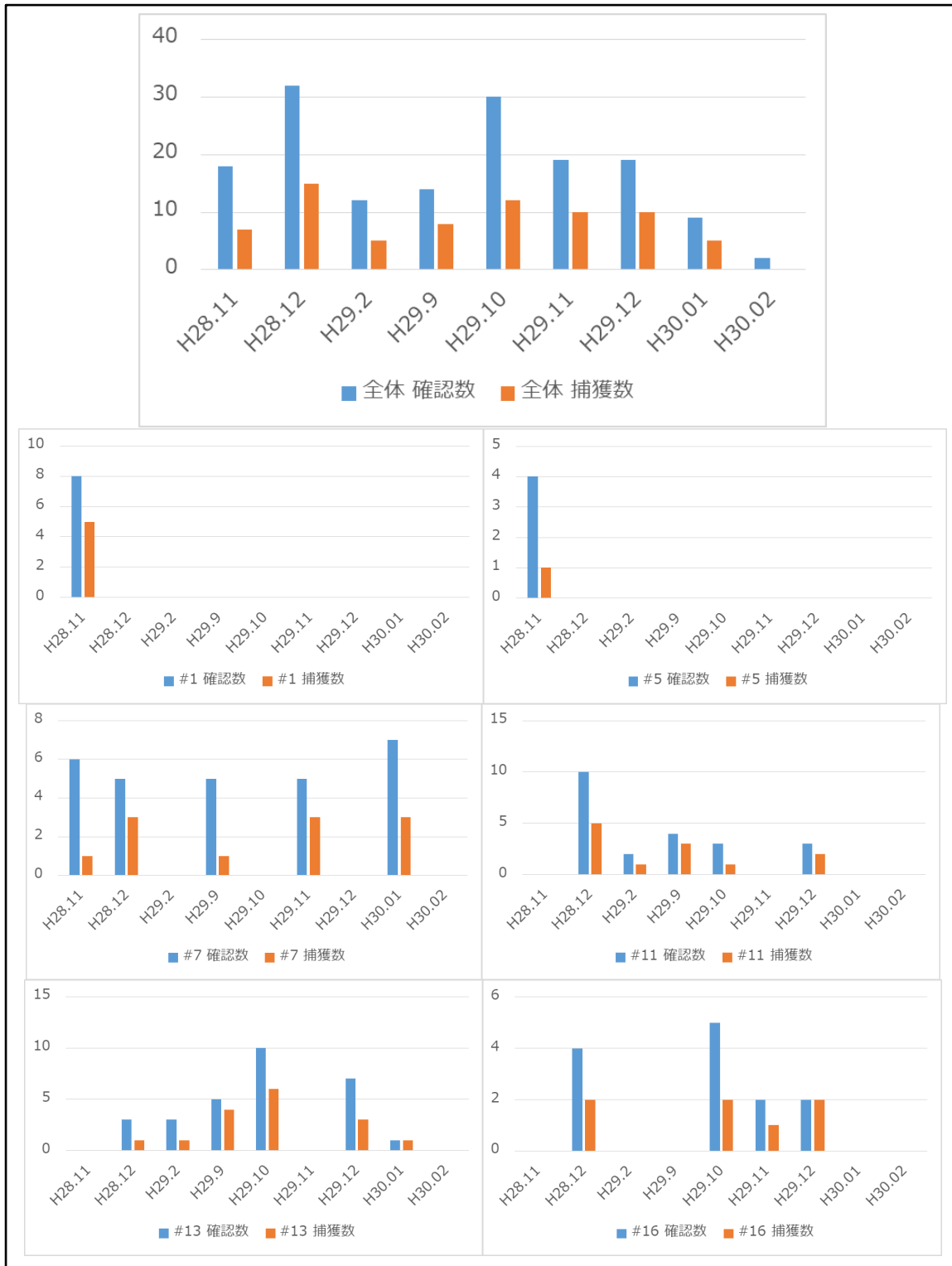


図 8.12(1/2) L05 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

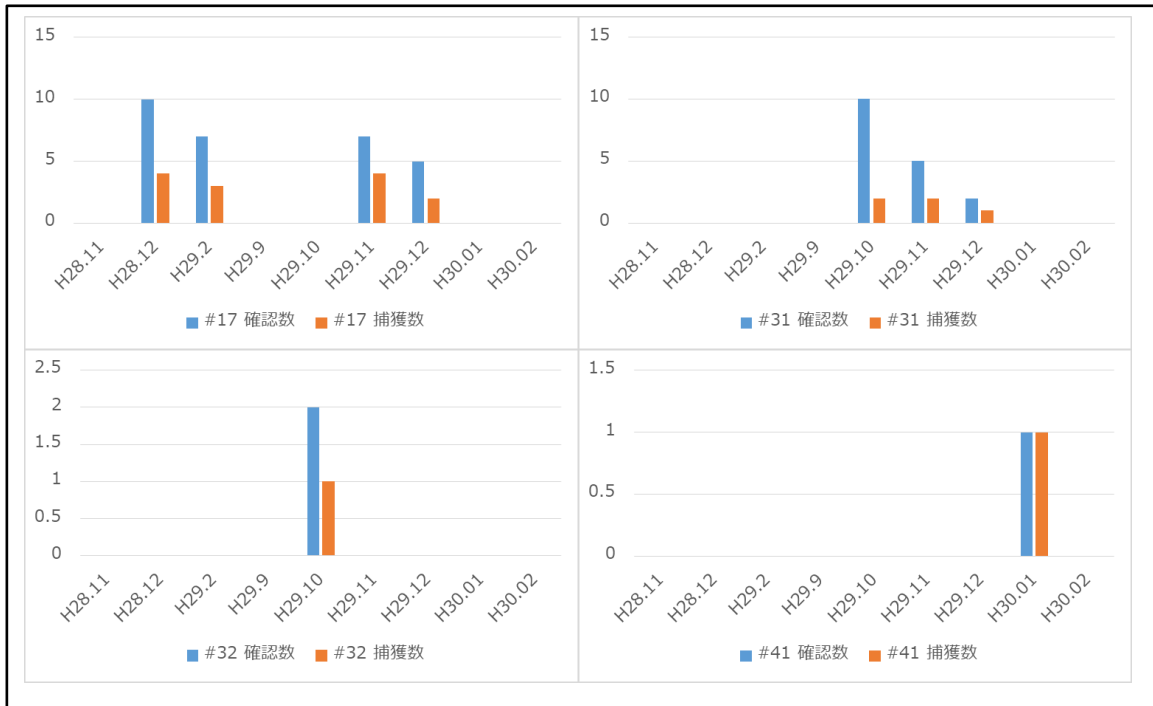


図 8.12(2/2) エリア L05 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

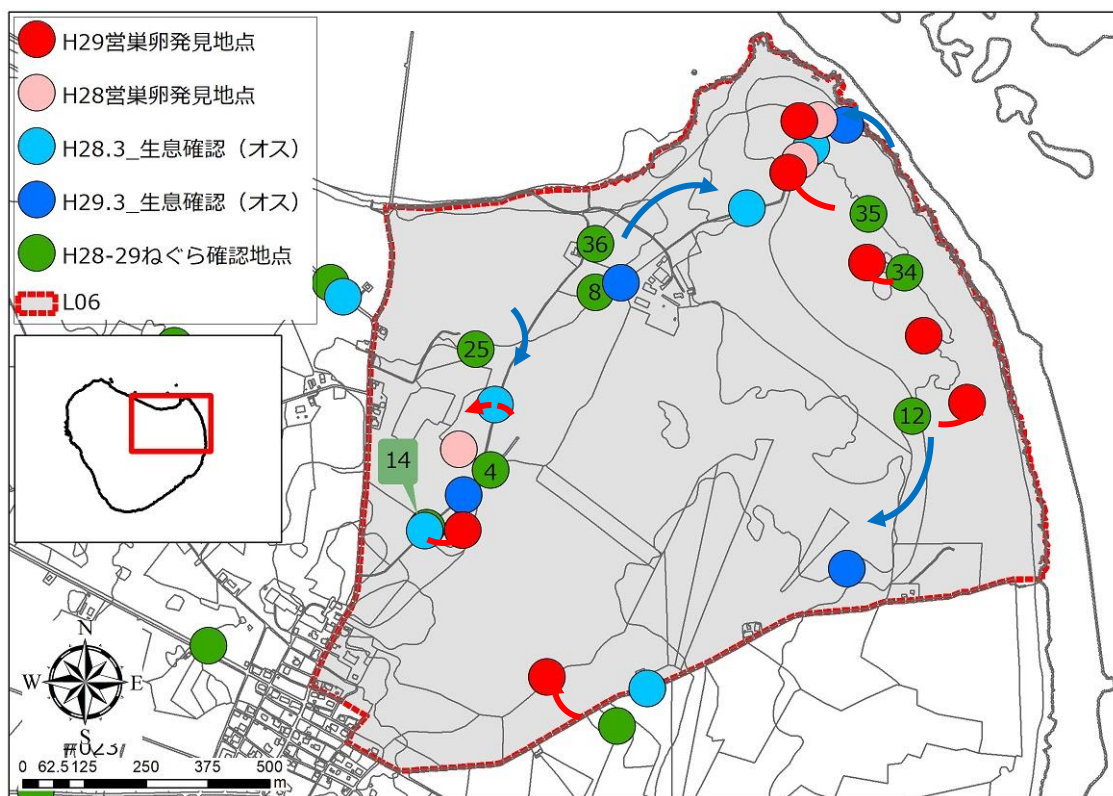


図 8.13 L06 における個体群動態
 数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。



図 8.14(1/2) エリア L06 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。



図 8.14(2/2) エリア L06 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

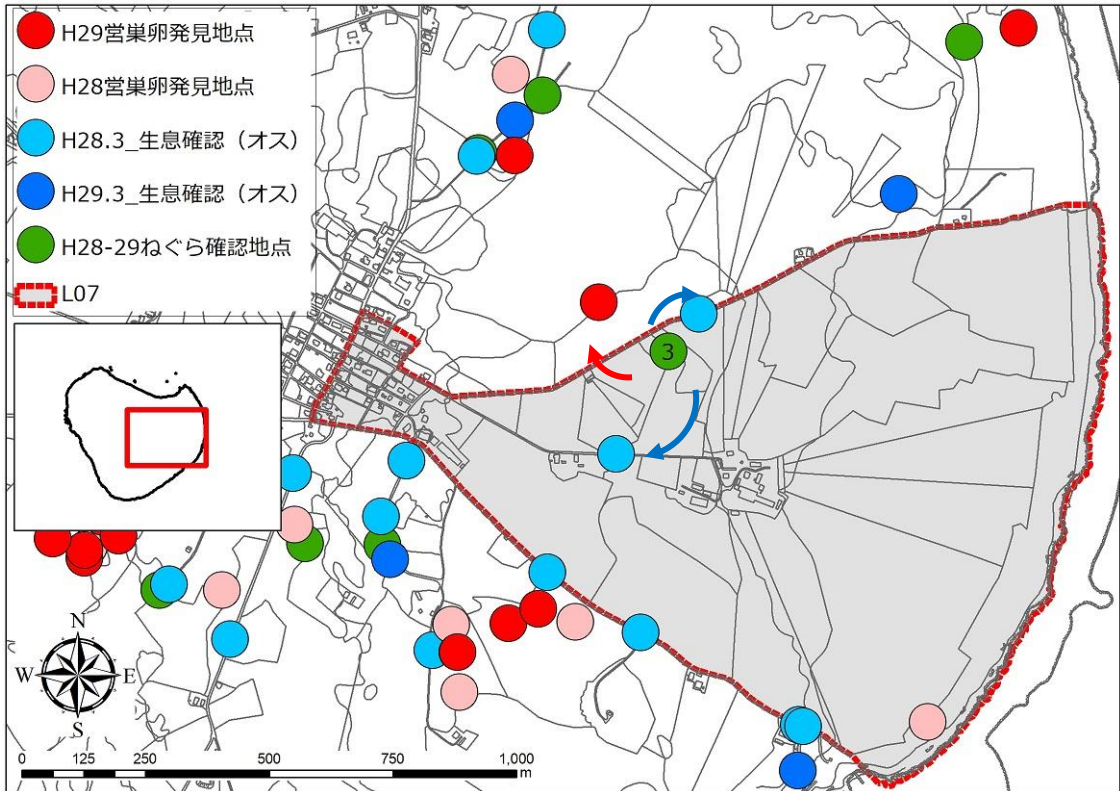


図 8.15 L07 における個体群動態
数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。

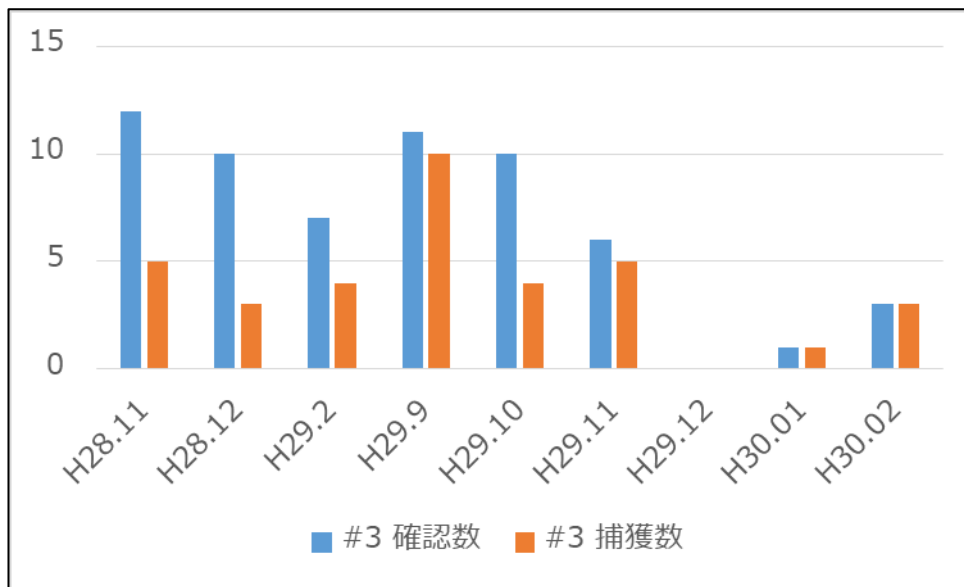


図 8.16 エリア L07 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。

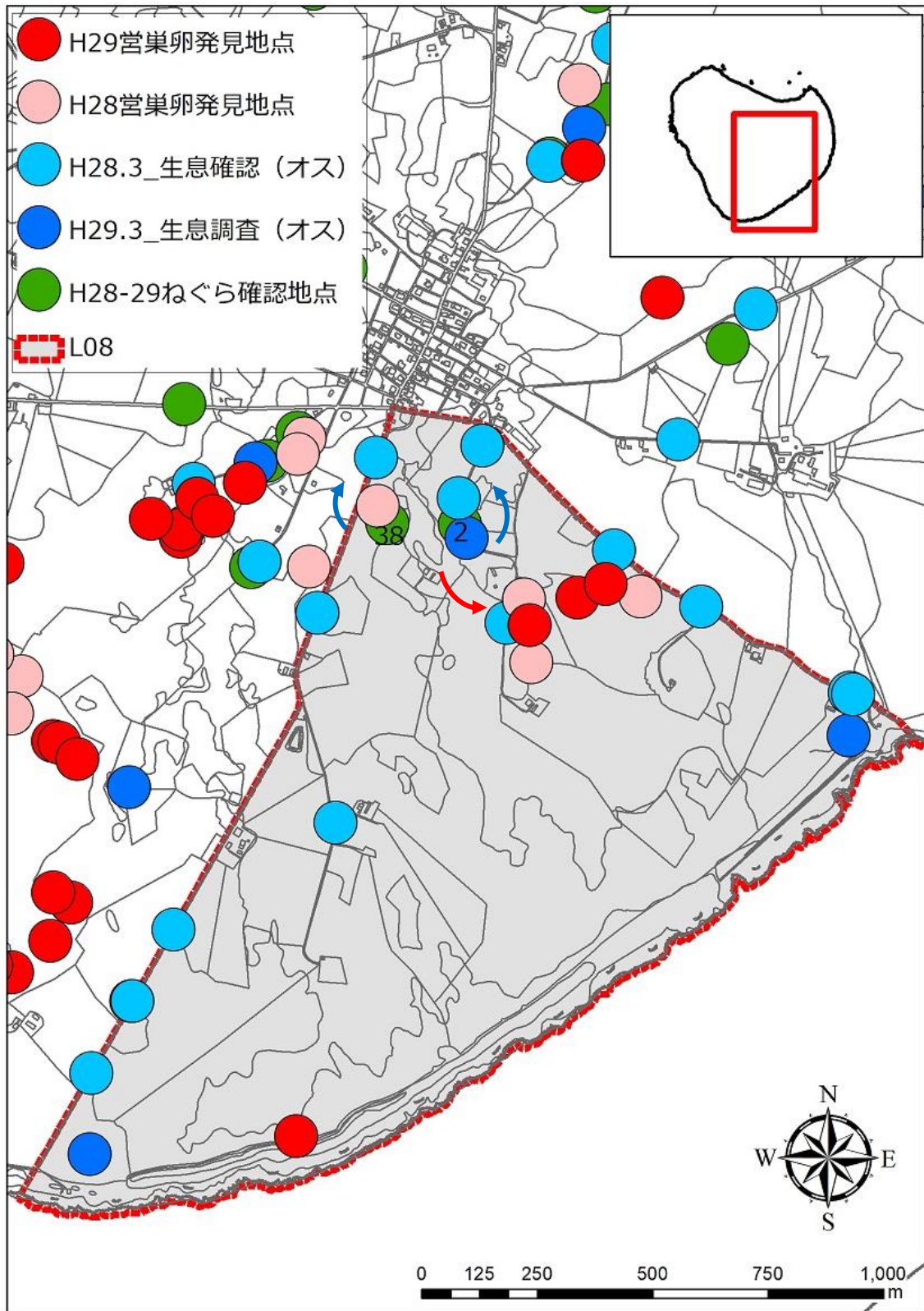


図 8.17 L08 における個体群動態
 数字は地点番号、矢印は個体の移動経路（推定）を表す。

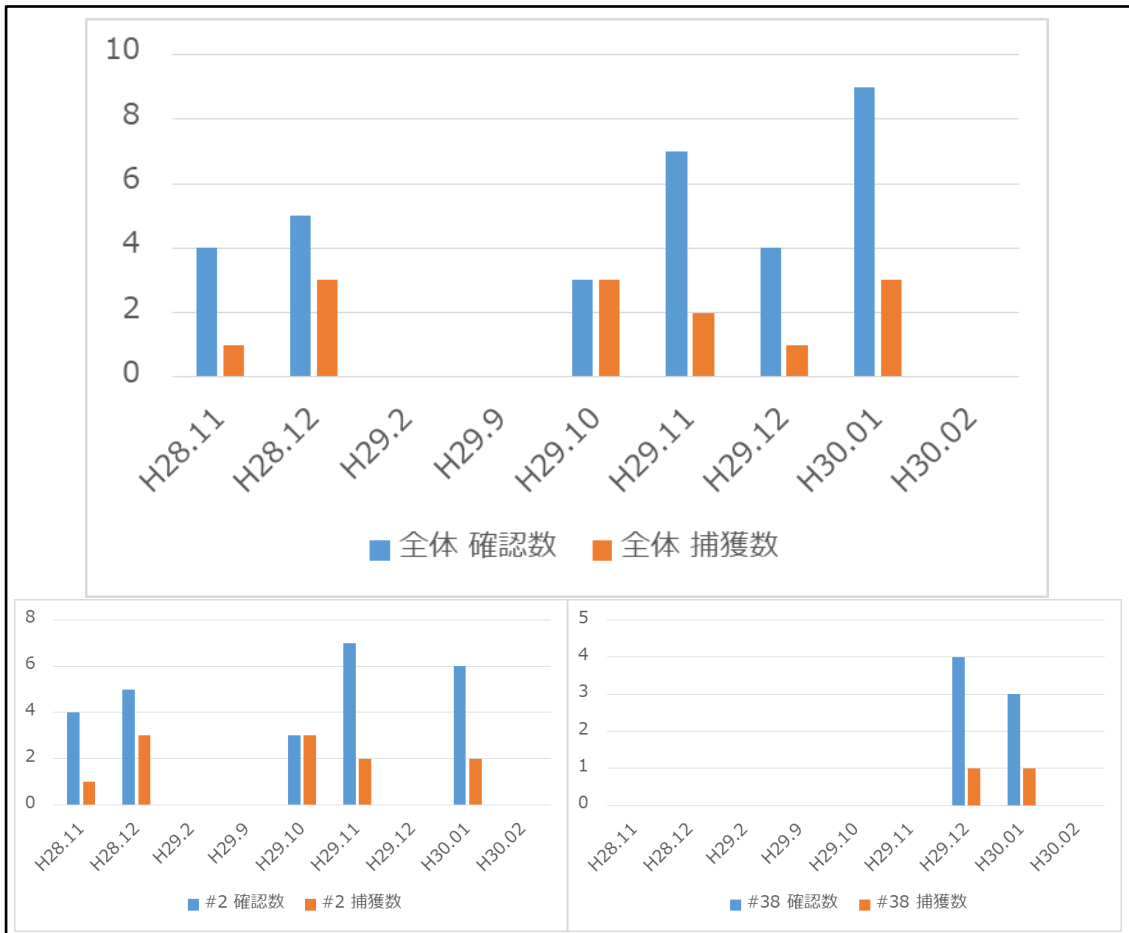


図 8.18 エリア L08 におけるねぐら地点での確認数・捕獲数の推移
数字は確認数（羽）を表す。